



福島県立梁川高等学校
令和元年8月22日
校長だより
知性 誠実 責任
第 33 号

■ 第2学期がスタートしました

8月22日（木）、梁川高校の第2学期が始まりました。始業式では次の話をしました。

◇ 校長の話

今月は8月です。8月を英語で何と言いますか。Augustですね。Augustはローマ皇帝アウグストゥスに由来します。

では、8月の異名、異なった名称、日本での別の呼び方を知っていますか。葉月（はづき）と言います。カレンダーにはよく書いてありますが、普段はあまり使いませんね。月の異名として世の中でよく使うのは12月の別の呼び方だと思います。師走（しわす）と言います。

では、10月の別の呼び方は何と言うでしょう。神無月（かんなづき・かみなづき）と言います。なぜ10月は、神様が無い月と呼ぶのでしょうか。それは、10月になると、全国の神様がある所に集合してしまうため、神様がいなくなってしまうからです。年に1回、全国の神様が集まって会議を開き、話し合いをするわけです。神様が集合する場所、話し合いの会場が、島根県にある出雲大社というところです。ということは、全国的には10月は神無月ですが、出雲では何というのでしょうか。神在月（かみありづき）となります。

この夏休みに、西の方に行く用事があったので、以前からずっと行きたかった出雲大社にも行ってきました。そして、3年1組の石井さんから3年2組の結城君まで3年生37名の希望進路達成をお祈りしてきました。ですから、3年生は自分の進路実現に向けてさらに努力を重ねてください。

2学期から、2年生は梁川高校の顔となります。そのつもりで、一人一人目標を定めてがんばってください。1年生は、1学期に積み上げた望ましい生活習慣をさらに継続して、じつくりと力を蓄えてください。

1年生、2年生、3年生全員の活躍を期待しています。

■ お知らせ「福島特定原子力施設地域振興交付金事業」



長らく使用できていなかった体育館のバスケットボールゴールが、夏休みに入る前の修理工事により使用できるようになりました。今までは、体育館半面を使ってのバスケットボールでしたが、ようやく体育館全面を使うことができるようになりました。今回の修理工事に際しては、「福島特定原子力施設地域振興交付金事業」を活用させていただきました。

早速、バスケットボール部が体育館全面を使って生き生きと練習をしています。新人大会では、安達東高等学校との合同チームとなりますが、活躍を期待しています。

■ 生徒会機関誌「広瀬」

校長室の棚には、梁川高校生徒会が毎年発行している機関誌「広瀬」が並んでいます。今年、令和元年は、梁川高校創立百周年にあたります。そこで、生徒会機関誌「広瀬」から梁川高校の歴史を振り返ってみようと思います。

－第2号 昭和57年度－

【年間行事より】

11月に「校内学習発表会」が行われています。現在では、「梁華祭」という名称になっています。当時の生徒会長の文章を紹介します。

学習発表会を終えて

11月5日、6日にかけて行われた学習発表会も、無事幕を閉じることができました。これもすべて、皆さんの協力と、積極的な参加があったからと、信じています。(中略)

ただ残念だったことは、やや協調性にかけていたということです。生徒会としても全力を尽くしたのですが、役員を引き受けて、まだ日が浅かったこともあり、思うように事が運ばず、又、生徒一人一人にも、学習発表会についての連絡が行き届いていなかったことが、悔やまれてなりません。

それで、これからの学校生活のためにも、意見箱などを設けたいと思っています。実行できるかどうかは分かりませんが、現在の状況において、良い手段ではないかと思っています。学校生活には諸問題はつきものです。少しでもそれらを解決していければと思っています。

私が何よりも言いたいことは、「生徒のための生徒会である」ということです。ですから、皆さんからの意見を大いに取り入れて、少しでも役に立ち、少しでも改善することができるよう、努力していきたいと思っています。

【第15回校内マラソン大会開催される】

昭和57年で15回ということは、梁川高校では昭和43年からマラソン大会が綿々と続けられているということです。現在では、三浦弥平杯伊達市梁川ロードレース大会の梁川高校の部として実施されるようになっており、今年度で第52回を数えます。

【部活動この1年】

運動部の県高校総体県北地区予選・春季県北大会(野球)の成績をみると、バレーボール(男女)、テニス(男女)、卓球(男女)、ソフトボール、弓道(男女)、ハンドボール(女子)、剣道(男女)、新体操、陸上、野球の各部が出場していることがわかります。そのうち、テニス(男女)、卓球、ソフトボール、ハンドボール、弓道(男子)、野球が県大会に進んでいます。

また、学芸部として、珠算部、華道部、美術部、文芸部、演劇部、英語部、書道部、社会部、合唱部、吹奏楽部、JRC部が活動しています。

【梁高図書館の実態】

当時の図書室の蔵書の状況を見ると、生徒1人当たり冊数が、昭和47年度は15冊だったのが、昭和56年度には27冊まで増えています。一方、貸出状況を見ると、昭和47年度が年間1人3.1冊、昭和56年度が2.0冊となっています。